

テニス部（硬式）顧問の先生方へ 2025年度の関東大会・全国総体県予選（以下関東・全国予選）についての説明です。

※ 今年度の関東・全国予選について、以下の枠内に主な注意点をまとめてあります。必ず確認をしていただき、お間違えのないよう注意をお願いします。

＜主な注意点について＞

- ① 申し込みには、必ず顧問の先生が参加する。
- ② 今年度最初の大会になるので、全選手の登録をする。
- ③ 抽選会は必ず顧問の先生が出席する。
- ④ ドロー表や日程表はホームページからダウンロードする。（4月23日（水）掲載予定）
- ⑤ 審判は、SCU方式で実施する。
- ⑥ 全国高体連テニス専門部より各学校、男女それぞれに700円の負担金がある。
- ⑦ トーナメント作成システムで大会エントリーの準備等をする。なお、掲載される「トーナメント作成システム」操作マニュアルを参照し、入力する。

A 申し込み及び試合まで

- 大会要項は、3月7日（金）に神奈川県高体連テニス専門部ホームページにて掲載されます。**必ず、ダウンロードの上、ご一読ください。**

（参考：神奈川県高体連テニス専門部ホームページ <http://www.k-tennis.net/>）

＜大会申し込み＞

○ 4/10（木）17時まで：ホームページから「トーナメント作成システム」へ入力する。時間厳守。

○ 4/11（金）16時～17時：申込用紙などを提出（提出物は「8 申し込み ア 申し込み時の持ち物チェックリスト」をご確認ください。）

ここまでが申し込みになります。トーナメント作成システムへの入力だけでは完了しません。ご注意ください。

○ 4/18（金）15時～ 抽選会（於 保土ヶ谷公会堂）

（※ 生徒の参加は禁止です。今年度の大会に関する説明等を行いますので、必ず顧問が参加してください。）

1 大会要項等の配布については、神奈川県高体連テニス専門部のホームページよりダウンロードしていただくことになっています。

2 個人の部エントリー上限一覧

まず、3月7日（金）に掲載される資料中の「個人の部エントリー上限一覧」（以下「一覧」）を確認してください。学校名は、1～99番は横浜地区、100番台は湘南地区、200番台は川崎地区、300番台は横三地区、400番台は北相地区、500番台は西相地区の学校番号順に並んでいます。一覧中の学校名の右の数字が、各校の申し込みの上限になります。S（シングルス）3人、D（ダブルス）3組が原則ですが、前年度の新人大会での本戦出場数などがボーナスで加算されています。

3 申し込み用紙

ア 神奈川県高体連テニス専門部のホームページにある、「トーナメント作成システム」に選手名と学年、登録順位などを入力していただきます（入力方法等については、県高体連テニス専門部ホームページに掲載）。入力完了後、プリントアウトし、学校長印を押印してください。申し込みは、各地区の申し込み会場に書類を提出して完了になります。入力のみでは大会に出場できませんのでご注意ください。なお、入力は申し込み前日の17：00までとなっています。（申し込み用紙については、コピーの提出は不要です。）

イ 申し込みの際の選手名は、校内順位（実力順）に従って入力して下さい。特に、シングルの順位と団体の順位には、矛盾がないように注意してください。ダブルスでは選手が重複して出場することはできません。また、シングルス、ダブルス共に、申し込み後の選手の変更はできません。例えば、シングルスで怪我等により出場できなくなった選手がいても、他の選手が出場することはできませんし、ダブルスでパートナーが辞めてしまっても、ペアを組み直して出場することはできません。

ウ 団体戦の登録には4人以上が必要です。すべての対戦において、当日4人以上の登録メンバーがいないと出場できません。

今年度の関東・全国予選では、怪我等によるメンバー変更は1名に限り可能です。修学旅行によるメンバー変更は人数に制限はありません。ホームページから書式をダウンロードし、必要書類をそろえて、団体の部初日5日前16：00までにテニス専門部委員長まで提出してください。ただし、修学旅行のメンバー変更については、該当日のみ有効となります。該当日以外については、初めに登録したメンバーで試合当日はエントリーを行ってください。雨天日程が修学旅行期間と重なっている場合も同様に、その期間のメンバー変更を所定の手続きで行ってください。

エ 再編・統合の対象校であり、団体戦において1校では3名以下となる学校は、合同チームでの出場が認められます。合同チームを希望する学校は、必ずテニス専門部委員長にご連絡ください。

（テニス専門部委員長連絡先：県立秦野曾屋高等学校（TEL：080-7000-3712） 吉崎 慎一郎）

4 加盟登録用紙

加盟登録用紙に記載されていない選手は、その年度の高体連主催のテニス大会には出場できません。提出の際には、コピーで構いませんので、地区用と県用の2枚同じものを提出してください。今大会は、今年度初めての大会になるため、選手全員の登録が必要です。

5 大会参加料 ※登録費3000円は絶対に一緒に振り込まないでください。

- ア 別紙に指定された口座に、男女で分けて学校でまとめて振り込みます。申し込み当日には、振り込みを確認できる書類（コピー可）を「参加料払込確認書」に貼り、提出してください。
- イ 領収書には学校番号、学校名、参加数、金額を記入して申し込み会場にご持参ください。その際に、「3」でプリントアウトした申し込み用紙の参加数と、領収書の参加数が同じことを確認してください。

6 負担金（全国高体連テニス専門部）

負担金については、「5 大会参加料」と同時に振り込みで対応をお願いします。男女ともに参加する場合は男子700円、女子700円の計1,400円の徴収になります。お間違えのないよう、よろしくお願いします。なお、全国高体連テニス専門部から各校への負担金に関する文書は、県高体連テニス専門部のホームページに掲載されています。

7 登録費（県テニス協会加盟）

登録費は現金で支払います。今年度は抽選会時に現金（各校3000円）をご持参ください。登録費の領収書はテニス協会で準備し、抽選会当日に発行しますのでご持参いただく必要はありません。

8 申し込み

申し込み用紙提出は4月11日（金）16:00～17:00です。今年度も生徒ではなく、必ず各校の教職員が申し込み会場にお越しください。申し込み会場は各地区で違いますので、大会要項の中にある、各地区の「申込先」をご確認ください。申し込みは時間厳守です。遅刻したら出場は出来ません。

ア 申し込み時の持ち物チェックリスト（4/11）

【申し込み時の持ち物チェックリスト】

- ☐ 申し込み用紙（校長印が押印されたもの）：1部
（複数枚になる場合には、ホチキス等でまとめた状態で提出してください。）
- ☐ 加盟登録用紙：2部（コピー可）※全選手の登録が必要です。
- ☐ 参加料払込確認書（払込を確認できる書類が添付されたもの）：1枚
- ☐ 領収書：2枚（大会参加費用と全国高体連テニス専門部負担金用の2部）
- ☐ シード資料（該当選手がいる学校のみ）

9 シード候補者

実績のある選手はシード対象者となることがあります。ホームページの『大会資料』にある『シード資料』から、対象となる基準を確認の上、1つでも基準を超えるものがある場合は記載用紙をダウンロードし、すべての項目を記入してご提出下さい。シード選手はシード委員会で選抜され、4月18日（金）抽選会当日に発表をします。個人戦では、シード選考から外れた場合は予選からの出場になるので、他の選手と同様に予選抽選の対象選手となります。

10 抽選会

4月18日（金）15:00から行います。今年度の大会に関する説明等を行いますので、必ず各校の教職員が抽選会にお越しください。本大会において個人の部予選は「自動抽選」で実施します。個人の部のみ出場する学校は、はじめの諸注意等が終了しましたら、帰宅してください。その後、団体の部の抽選終了後に、シード選手についての抽選を専門部によって責任抽選を行いますので、ご興味のある先生方は残っていただくことはできません。

今回は抽選会に持参していただく書類等はありませんが、登録費は忘れずにお持ちください。学校番号を受付の際に伝えていただけると、受付や領収書の発行がスムーズに行えますのでご協力ください。

11 ドローと日程表の発表

個人の部予選のドローと日程表、団体の部の日程表は4月23日（水）にホームページに掲載します。抽選会で配布された注意事項等は、印刷をして選手へ配布し、各校で説明をお願いします。（※個人の部本戦のドローと団体の部のドローは、抽選会終了後、ホームページにて掲載します。）

12 ホームページ 大会連絡掲示板（神奈川県高体連テニス専門部）

試合会場、日程は各校で責任を持って確認して下さい。大会期間中はホームページにある『大会連絡掲示板』が定期的に更新されますので、連絡事項を必ず確認するように選手へ伝えて下さい。更新日時は日程表に記載されています。大会連絡掲示板に記載された内容は、ホームページに掲載された日程表よりも優先されますので、顧問の先生方も必ずご確認ください。

13 テニス大会には地区予選がありません。県大会予選からになりますので、県下全体が予選会場となります。個人の部では全会場への引率が難しいことは承知しておりますが、試合参加については原則として顧問の先生が選手の引率をお願いします。また、大会当日に主顧問の先生は申し込み時に入力した連絡先で必ず連絡が取れるようにしてください。尚、団体の部では引率がないと出場することができません。

14 関東・全国予選では、対戦ラウンドによって試合形式が異なります。

個人の部シングルスは予選から本戦3回戦までと、代表決定戦及び順位決定戦は1セットマッチ、以降の試合はすべて8ゲームプロセットマッチ。ダブルスは予選から本戦4回戦までと代表決定戦及び順位決定戦は、1セットマッチ、以降の試合はすべて8ゲームプロセットマッチで行います。また、団体の部は準々決勝までと順位決定戦は1セットマッチ、準決勝、決勝は8ゲームプロセットマッチとなります。

15 審判方式は SCU 方式で行います。特に1年生が出場する場合には、セルフジャッジ及びSCU方式での試合及び審判ができるように、各校での事前の指導をお願いします。

B 全体的に

- 1 選手は一般的に高体連（高校体育連盟）の試合に出場していますが、これ以外の試合にも選手は出場できます。以下の通りです。

- ① テニス協会

ジュニア大会と呼ばれ、個人でテニス協会に加盟登録して出場します。中学までのテニス経験者の多くは協会に登録しています。U18、U16、U14と2歳刻みになっています。ジュニア大会にはダブルエントリーの規定があり、日程が重なる大会には出られません。ここで注意するのは、テニス協会側は高体連（部活）の試合と協会の試合が重なっていてもダブルエントリーとは見なさないということです。

高体連側は、「他の試合に出ることによって高体連の試合を欠場」することがあった場合、ペナルティーの対象とします。このことを多くのジュニアの選手、保護者は知らないことからトラブルが起き得ます。各校で、選手のジュニア大会参加に関しては事前に確認をし、トラブルが起こらないようご注意ください。

- ② 他の大会として国際大会（ITF）、国内の一般大会（JOP）などもダブルエントリーは出来ません。関東、全国予選でエントリーする際、ご確認ください。

- 2 団体の部の1つの対戦中にベンチに入れるのは、オーダー用紙に記載された顧問もしくはコーチ（登録されている者に限る）のどちらか1名または部員となっています。また、ファーストゲーム終了後のチェンジエンド、タイブレークポイント中のチェンジエンドの際に行えるのは選手の水分補給のみであり、選手へのアドバイス等は行いませんのでご注意ください。

- 3 関東大会及び全国総体の団体戦について 4名での出場が認められています。